

関西北陸ブロック ブロック学生委員会#2

概要 日程：2024年5月11日（土）13:00～17:00
場所：新大阪丸ビル別館4階

ゲストスピーカー ヨコタ東北様

参加者

富山大(3)、富県大(6)、福井大(2)、同志社(2)、立命館(7)、京府大(2)
龍谷大(3)、京教大(1)、京工繊(2)、京都橘(5)、奈良女(4)、奈教大(3)
滋県大(3)、滋賀大(7)、大経大(5)、近畿大(1)、大阪大(3)、神戸大(1)
関学大(1)、兵県大(5)、神高専(2)、連合会(3)、ブロック(22)

計21会員93名



アイスブレイク＝緊張を壊すということで、学生事務局（GL）が中心になり話しやすい雰囲気を作りました。（事務局より）

01 アイスブレイク

アキネイターゲームでスタート

今回のアイスブレイクは、ひとりのメンバーがお題を知った状態で残りのメンバーが質問をしながらお題を当てるアキネイターゲームを行いました。前回のオンライン開催とは異なり対面実施ということもあって、どの班も盛り上がっていました。話し合いを始める前に各々の緊張感をほぐす時間を作ることができました！

02 みんなの共済2024に 向けて

みんなの共済ってなんだろう

「みんなの共済2024」を開催するにあたり、なぜセミナーを開催するのか位置づけを話したり、実行委員の募集を呼びかけたりしました。実行委員会の設置をした理由や実行委員になるための条件を話し、少しでも実行委員や共済そのものに関心を持ってもらうようにしました。皆さん真剣に耳を傾けてくださり、理解しようとしている姿勢が伝わってきました。



共済命と言っている委員が自大学にいたので伝えようと思いました。（富山大・2年）

03 ヨコタ東北様による リ・リパックのお話

実際に開発者の生の声を聴きました

リ・リパックの回収率を上げるにあたって、「なぜ回収するのだろう？」「回収したあとは？」などの疑問点を、実際に株式会社ヨコタ東北様に講演をしていただきました。講演の中では、リ・リパックを開発することになったきっかけや回収した後どうなっているのか、大学以外で使用されているイベントなどを講演していただきました。その中で学生はメモをしっかりとっていました。



歴史を知ることによって意義を知り、環境だけでなく障害者支援にもなっていることを知りました。（事務局より）

その後、学生で意義や自大学でリ・リパックの回収率を上げるためにはどのようなことが出来るだろうか？といったことを話し合いました。中には自大学生協でリ・リパックを扱っていない会員からも「こんないいものをどうして自大学では取り扱わないんだろう？」といった声も上がる中、回収する場所がネックになっていることが共通認識としてあげられ、学生だけではなく職員や学校と協力することが大切であるということがわかりました。

ここで学んだことをぜひ自大学生協でも広げてもらい、リ・リパックのいいところがどこにあるのか、リ・リパックの回収率を高めるためにはどうすればよいのか、みんなでも考えられる機会をとってほしいと思います。



障害者支援に関わっていることや大きなイベントで使用されていることを初めて知ったので、新しい学びを得られて良かった。
(奈良女・3年)

04 半期総括

今までを振り返り、下半期に向けて

この時間では、各大学が1月から現在まで行ってきた企画や活動について振り返りました。今までの活動を振り返ることによって、自大学生協の良いところと改善したいところが見える化しました。また、下半期に向けて改善したいところを、どのように解決していくのかと考える時間にもなりました。



今まで取り組んできたことを振り返ることで、反省点や良かった点を可視化できた。
(事務局より)

05 引継ぎについて

先輩から後輩へ、後輩から先輩へ

この時間では、各大学の引継ぎについて行いました。先輩からは、自分たちが今までやってきたことの思いを、後輩からはこれから自分たちがやっていきたいことを話せていました。次年度の正副委員長は先輩からの思いを聞いて、これから自分たちがやっていきたいことをたくさん交流できていました。



何を引き継ぐのか、どう引き継ぐのかをそれぞれの大学がどう考えてるのかを知れてよかった。
(大経大・2年)



次回のブロック学生委員会は一

2024年8月3日(土)

出席してくれた正副委員長の皆さん、ありがとうございました～!

つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください!
ブロック学生事務局 [浦田 行紘]
Urata.Yukihiko@univ.coop



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。